

西の鯖街道

発行：社団法人京都府観光連盟 ☎075・411・9990
西の鯖街道 memo
 観光の問合せ ●西の鯖街道協議会事務局(美山ふるさと株式会社内)
 ☎0771・75・0815、美山町観光協会 ☎0771・75・1906
 宿 ●美山町内に旅館・民宿が約20軒



旅した人 ●大川陽子
 東京生まれのイラストレーター。
 路地裏、建物、ふるさとグルメなど、有名観光
 スポットだけでは飽き足らない「散歩の達人」



当時の貴重な宿中長も残っているとが

旧道の面影

きぐすりやの裏手には、かつての街道の一部が残っているのだ

旧街道沿いに佇むお地蔵様、石碑や道標が今も街道沿いにひそりと残る

美山かやぶき美術館 郷土資料館



共に築150年以上になる北山型の茅葺き民家を移築・改造して利用している。郷土資料館は、農山村の民具を常設展示

道の駅 ウッディー京北 ☎075・852・1700 開9:00~18:00 休12月29日~1月3日 住京都市右京区京北周山町上寺田1-1 区JR京都駅からバス1時間20分の京北合同庁舎前下車、徒歩1分
 美山かやぶき美術館・郷土資料館 ☎0771・75・1777 開10:00~16:30 休月曜(祝日の場合は翌日)、12~3月 料両館共通500円 住南丹市美山町島朴ノ木21 区JR京都駅から車で約1時間20分

神田の水



湧水の道をはさんだ向こう側に「美山の名水」の工場が建っている



由良川の源泉から湧き出す、美山の名水

羽田酒造

自社田で作った米と、桂川の伏流水で醸す「大吟醸」



創建は崇神天皇の時代(紀元前)。現在の社殿は文政5年(1822)改築の京府登録文化財

道の駅 ウッディー京北

北山杉を使った工芸品や木製品をはじめ、地元の農産物、土産物など、種類豊富。併設レストランあり

栗尾峠の展望



周山街道(国道162号、かつての魚青街道)にある峠。周山地区を一望できるが、道が狭く馬主車スペースなどないので車の往来に注意が必要だ



常照皇寺 伏条台杉(西日本屈指の巨大杉群)



若狭街道への分岐や湧水が峠の茶屋から少し北へ行ったところにある



奈良時代の「盆の道」に始まり、金知道が通る大正時代まで続いた「魚青街道」。元々多数あった魚青街道の一番西に位置するのが高浜からおおい町、美山、京北を通り京都に至る西の鯖街道だ。塩や魚など食料だけでなく、文化も行き来した「西の魚青街道」を訪ねてみよう。

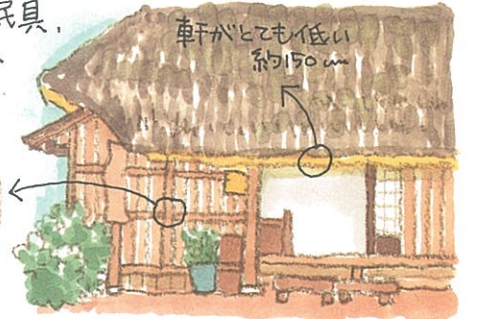


貞治元年(1362)、光厳法皇により開山された禅寺。府の歴史的・自然的環境保全地域。庭園は四季とれどれに美しいが、桜の季節は特に見事なうとか

美山名戸所に 足も延ばそう

美山 民俗資料館

この地方の200年前の民家を復元。茅葺きの民家を特徴を大切に守り建てられた。細部も見逃さない。農山村の民具、文南など展示



かやぶきの里 (北村)

大多数の家が築100年以上という、京都府中部に多い「北山型」の民家がひな壇状に並ぶ集落。現在、39棟の屋根が「茅葺きだ」

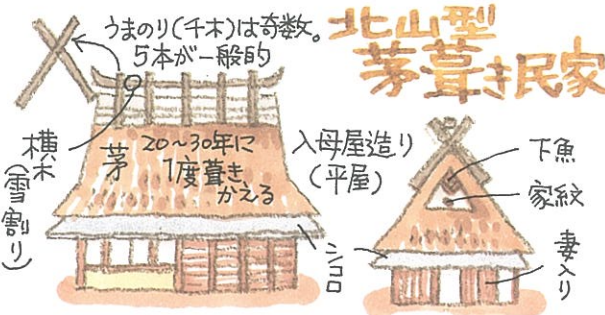
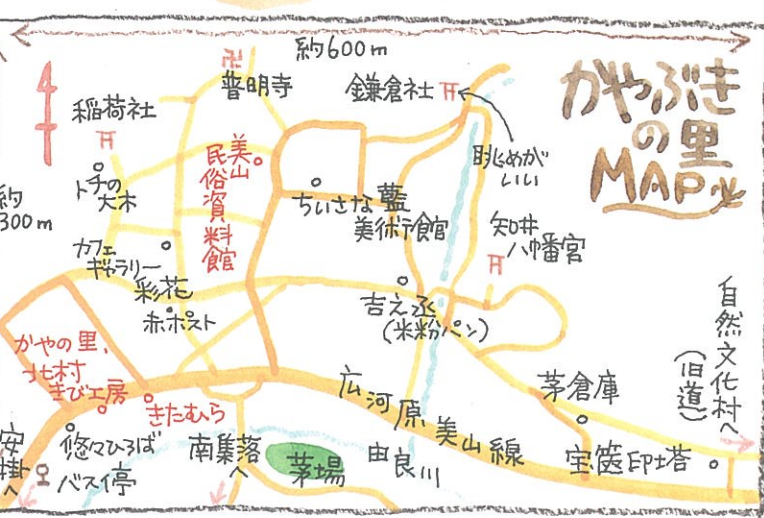


重要伝統的建造物群保存地区

道の駅 美山ふれあい広場

地域の人も利用する充実度か鬼力

美山で育った乳牛から生まれたミルクが原料の「牛乳」や「シラート」はフレッシュでおいしく人気が高い



もつ茅葺き民家 (長谷地区)



北村が重要伝統的建造物群保存地区候補となった時、美山では他に南村、下平屋、長谷地区も候補となっていた。選定されたのは北村だけだったが、上記の3地区にもまた農村らしい美しい風景が広がっている

西の鯖街道の おいしいもの



水に鬼まれ、稲作の盛んな美山の米はどれも、そのまま炊いて食べてもおいしい。方、道の馬Rなどにはお餅類がイロイロ。米の里のお餅はお土産にオススメ!

餅



あま餅 (各150円) かやの里、北村きび工房の餅類は全て北村産の黍穀類を使って作られている

鯖ずし



美山米を使い、山林を入れたなかがし会の山林入り鯖ずし (美山ふれあい広場などで販売)

ボリュームも大満足



きたむら ● ☎0771-77-0146 10:00~17:00 休水曜 (11月無休)、年末年始 往南丹市美山町北揚石19-1 往JR京都駅から車で約2時間

山里料理旅館 いそべ



しし金周や京地じりの焼きたきなどの山里料理の店が管む旅館。アットホームなもてなしと地物を使った料理が鬼力

かやの里 ● ☎0771-77-0660 9:00~17:00 (季節によって変動あり) 休年末年始 往・交きたむらに隣接 北村きび工房 ● ☎0771-77-0378 時・休不定 往・交かやの里内 山里料理旅館 いそべ ● ☎0771-75-0218。1泊2食7500円~ 往南丹市美山町長尾野崎2-1 往JR京都駅から車で約1時間30分

美山民俗資料館 ● ☎0771-77-0587 (かやぶきの里保存会) 10:00~16:00 (4~11月は9:00~17:00) 休月曜 (祝日の場合は翌日)、年末年始 料300円 往南丹市美山町北中牧4 往JR京都駅から車で約1時間30分

かつて、若狭湾から京都まで物資が運ばれた「鯖街道」と呼ばれる道がある。一般的には琵琶湖沿いの東ルートがよく知られているが、実は鯖街道は元々多数存在していて、運搬する人々の様々な事情で使い分けられていた。今回はその最も西側にある「西の鯖街道」を旅することにした。

鯖街道沿いで有名なのは何と云っても京都北部の重要伝統的建造物群保存

地区「美山かやぶきの里」だ。築100年以上になる茅葺き民家が建ち並ぶ北村は、現在もそのほとんどが現役の個人住宅で、集落内には観光客向けの看板や土産店などはほとんどなく、美しい景観が維持されている。ゆつくり歩き回るうち「暮らしに本当に大切なことは何か」を考えさせられる気がする。初日の締めは「かやの里」と安掛の道の駅で地元の名産品を購入。

翌日は162号沿いを「西の鯖街道」の中継地点だった「きぐすりや」まで北上、建物の裏手に残る旧街道も見学。そこから南に向かう道々、旧道の橋や長谷集落、神田の水、ウッディー北村などに立ち寄った。京北で常照皇寺の庭園は必見だ。途中から旧道に入り、北山杉林の中を京見峠へ。お土産定番の郷土食「鯖ずし」はこの歴史の中から生まれたのかとしみじみ味わった。

- 今回のこづかい帖
- 東京からの交通費 (往復の料金) 都区内~京都.....2万7040円
 - * 新幹線 (のぞみ) を利用
 - 現地での交通費 レンタカー (2日間).....1万2600円
 - 宿泊費 1泊2食付.....7500円
 - * 美山町内の民宿に宿泊
- 【合計】4万7140円